

4 OJTに取り組んで

成果

- 学び合う職員室文化が醸成され、教員の同僚性が高まり、日常的な学び合いが生まれるようになった。初任層はベテランのもっている優れた指導法や校務の進め方について学び、ベテランは初任層に積極的にアドバイスを送るようになった。
- 一人一人が進んで学ぼうとする意識が高まった。ミニ研修の講師を分担することで、自分が同僚に教えることができることは何かを考えるようになった。同僚が行う質の高い研修内容から、多くの教員が自分もしっかり学ばなければならないと感じていた。
- 評価されることに抵抗感を感じていた教員も、「学び合いカード」によって効力感が生まれた。分からないことがあったときには進んで同僚に聞き、困っている教員には積極的に声を掛けるようになった。
- 「OJT実践シート」「OJT一覧」「学び合いカード」などで振り返ることで、一人一人が自分のよさに気付くとともに、課題を意識して改善しようとする意識が高まった。

《先生方の声》

経験年数が長いので、これまでの経験を頼りに指導してきたが、OJTをとおして若手の教員を意識するようになり、研究や日々の実践をしっかりと行おうと思うようになった。【50代女】

《先生方の声》

辞書の使い方や情報機器の活用など、すぐに生かせる内容だったの實踐に役立った。年上の先輩教員の話も大変勉強なことばかりだった。【20代女】

今後に向けて

- 学年会 OJT や紙上 OJT などは時間設定の必要がないので機動的に推進することができたが、15分ミニ研修は時間の確保が難しかった。臨時の会議や生徒指導対応等によって順延せざるを得ないことが多かった。長期休業中に集中して設定するなどの工夫が必要である。
- 一人一人の振り返りの内容を、教員全員で共有することが難しい。学び合いの意識が高まり、同僚性が構築されても、それを互いに確かめ合う場が確保しにくい。「学び合いカード」を全員で回覧するなど、成果を共有し合う工夫が必要である。

◆OJT学び合いカード◆ ※ 今後の自分の実践に生かしたいこと ※ 講師への温かいメッセージ などをお書きください。	記入者「 」
知ってるけど知らなかったことを / 分かりやすく 教えてほしいだけなのではないか? 教えてもらう というより みんなで 取組む時間を作るほうが いいかな 先生 これは貴重だと思いました	
※「幸せは、いつも自分の心が決める」相田みつを どんな内容でも、誰が行っても、学べることは必ず見つかるはず。何を学べるか聴きましょう。	
■ OJTについて、ご意見・ご要望等ありましたらお書きください。 自分はどうしようかと考えてましたか 気楽にやりたかったです	

OJT 学び合いカード